

白鳥

～夢に向かって、気づき・考え・行動する 児童の育成～

令和5年12月 6日

文責 富永 和重

人権・平和集会



昭和23年(1948年)12月10日、国連総会において「世界人権宣言」が採択されました。採択日である12月10日は、「人権デー(Human Rights Day)」と定められています。法務省の人権擁護機関では、人権デーを最終日とする1週間(12月4日から12月10日)を「人権週間」と定め、全国的に人権啓発活動が行われています。

本校でも、12月6日(水)に全校で「人権・平和集会」を行いました。

本校の「人権・平和集会」は、5・6年生が会を進行し、「長崎修学旅行の報告」、人権教育担当による「読み聞かせ」、各学級の「いじめをなくすための標語の発表」などを行いました。

6年生の「修学旅行の報告」では、原子爆弾の恐ろしさや平和を守ることの大切さなどが、とてもよく伝わってきました。発表の最後には、友達を大切に、仲良くしていくために、そして、平和な世界をつくるために、6年生から3つのお願いがなされました。

- 1 けんかをしたときは、話し合いで解決する
- 2 思いやりの心をもって行動する
- 3 人の気持ちを考えて話す



各学級の「いじめをなくすための標語」は、事前にそれぞれの学級で話し合っただけで決めたことを、しっかりと宣言し、いじめのない学校にすることを誓い合いました。

いじめをなくすための標語

- (1年) やめましょう じぶんがされて いやなこと
- (2年) あい手の気持ちを考えて みんなでなかよく にこにこ2の1
- (3年) 心をこめたほかほか言葉で みんなの仲を 深めよう
- (4年) いじめなし 笑顔あふれる 学校に
- (5年) 困っている友達に気づき 声をかけ合い 言葉を大切にします
- (6年) 理解し合うことは いじめをなくす 第一歩



最後に全校で「世界が一つになるまで」を歌い、お互いを思いやることの大切さ、あたたかい人間関係をつくることの大切さを考えていきました。「世界が一つになるまで、ずっと手をつないでいよう」という歌詞がとても心に残りました。

一人一人の人権を守るため、まずは、目の前の相手の気持ちを考え、温かい言葉をかけることができるような子供たちを育てていきたいと思ひます。

はなまる先生ありがとうございました

朝のスキルタイムの時間に、1～3年生の子どもたちに〇付けボランティアでお力を貸してくださっている「はなまる先生」。

2学期の来校は、昨日が最終日でした。

たくさんほめてほしくて何ページも〇付けをお願いしたり、甘えて何度も〇付けに並んだり、子供たちは、はなまる先生が大好きでした。3学期もよろしくお祈いします。



寒さが厳しくなってきました。体調を崩している子もいるようです。
うがい・手洗い・しっかり睡眠・バランスの良い食事等、感染予防にご協力をお願いします。